

はしがき

■編集の趣旨

本書は、「集中2週間完成」シリーズの一冊として、短期間で大学入試センター試験・中堅私立大学レベルの古文問題に対応できる力を養うことを目的として編集された問題集です。

■本書の特長

- 各学習日とも見開き一ページに収め、学習の区切りがつきやすいように配慮しました。
- さまざまな時代・ジャンルの作品をバランスよく網羅し、取り組みやすい文章を最近の国立・私立大学入試問題の中から精選して収録しました。
- 「ポイント」として、各文章を読み、設問を解く際に役立つ文法事項等を簡略に解説しました。
- 設問は、文法・語彙・解釈・内容把握等の各種問題をバランスよく配置し、客觀・記述の両形式を取り混ぜながら、入試に即したものとなるよう配慮しました。なお、「ポイント」で取り上げた項目に対応する設問には◆印を付しております。
- 巻末には、古文の演習問題のほかに、紛らわしい語の識別・歴史・漢字の読みに関する問題も収録しました。

- 6 自己診断テストとして使用する場合のことを考え、制限時間と配点を示しました。
7 「別冊解答書」は自学自習の際に十分理解できるように、「解答のほか、「要旨」、「注意したい表現」、設問の「解説」、「口語訳」を収録し、丁寧で詳しいものにしました。

本書によって、諸君が大なる成果をあげられるよう、心から祈ります。

平成十五年十一月

編者

目次

第1日 無名草子	ラ変型活用語・古今異義語	4
第2日 おらが春	助動詞「る・らる」の意味	6
第3日 歌がたり	「文法的説明」の考え方	8
第4日 源氏物語	「給ふ」の用法	10
第5日 伊勢物語	敬語の種類と敬意の対象の関係	12
第6日 平家物語	軍記物語の描写	14
第7日 大和物語	和歌の技法	16
第8日 宇治拾遺物語	登場人物の整理	18
第9日 増鏡	「たてまつる」と「参る」の用法	20
第10日 浮世物語	係り結びの法則と例外の法則	22
第11日 蝶姫日記	古代人の「夢」	24
第12日 讀岐典侍日記	豊かな語彙—時間帯の表現	26
第13日 徒然草	呼応の副詞	28
第14日 鶴衣一蘿窓集	完了の助動詞+推量の助動詞	30
+α1 万葉集	上代の主な助詞・助動詞	32
+α2 紛らわしい語の識別	34	
+α3 古典文学史—有職故実などに關わる語の読み方	36	

無名草子 ラ変型活用語・古今異義語

月 日 曜日

30分

/50点

必ず歌を詠み、物語を撰び、色を好むのみやは、いみじくめでたかるべき。何事にも、

歌の道に足りぬるばかりは、いみじくめでたかるべきことやははべる。その中にも箏の

琴は、女のしわざとおぼえて、なつかしくあはれるものの音なれど、あやしの生女房、

童ベ、さぶらひなどまで、大方よからぬ爪鳴らして、なべて耳馳らしたが、いとめでた

きなり。琵琶はなべて弾く人（ ）、まして女などは、たまたまねぶを聞くもいと

めてたく、心にくく、奥ゆかしくこそはべれ。

博雅三位、逢坂の閑へ百夜詣で行きて、蟬丸が手より習ひ伝へたまへりけむほど、思ふ

もいとありがたくめでたきを、兵衛内侍といひける琵琶弾き、村上の御時の相撲の節に、

玄上賜はりて仕まつりたりけるが、陽明門まで聞こえけるなどこそ、いとめでたけれ。

「博雅三位だにかばかりの音は弾きたてたまはず」と、時の人褒めはべりけるほどこそ、

女の身にはありがたきことにはべれ。

歌などを詠み、すぐれて、人に褒めらるるためしは、昔も今もいと多かり。これは、い

とありがたくうらやましきことにはべり。

語注

色—情趣。
やは—反語の係助詞。「うだらうか、いや
うでない。」

箏の琴—十三弦の琴。「琴」は弦楽器の総

称。

生女房—宮仕えに慣れていない新米の女房。

「生」は接頭語。

琵琶—四弦または五弦。

蟬丸—生没年未詳。平安前期の歌人。琵琶

の名手でもあった。逢坂閑の近くに住んでいたとされる。

玄上—宮中に伝えられる琵琶の名器。

陽明門—大内裏の門。

ポイント

ラ変、ラ変型、隠れラ変に注意

ラ行変格活用「らーりーりーる」「れーれー

ラ変型：けり・たり・めり・なり・り

隠れラ変：形容詞力り活用・形容動詞・

形容詞型活用・形容動詞型活用

古今異義語に注意

心にくし→奥ゆかしい。上品。

奥ゆかしい→さらに奥のものが知りたい。

問1 傍線A～Fの「めでたし」（基本形）のうち一か所、他の意の単語でないと文意が通じないところがある。それはどこか。記号で答えなさい。（3点）

問2 文中の（ ）に入る語として適當なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。（3点）

ア 多く イ 少なく

ウ のどかに エ せはしく

◆問3 傍線1「ぬる」、3「はべる」、4「よから」、5「たる」、9「はべれ」の活用形をそれぞれ書きなさい。（3点×5）

1		
5		
	9	3
		4
10		

問4 傍線2「ばかり」、7「ける」、10「すぐれ」を例にならって文法的に説明しなさい。（4点×3）

例 「うらやましき」（答）形容詞・シク活用・連体形

2

問5 傍線6「心にくく、奥ゆかしくこそはべれ」を口語訳しなさい。

5点

問8 「無名草子」とは異なる文学ジャンルの作品を次から一つ選び、記号で答えなさい。（3点）

ア 俊頬脳　イ 古來風体抄　ウ 無名抄
エ 近代秀歌　オ 閑居友